

調査報告

高齢者と孤立化—独居後期高齢者実態調査50ケースについて—

Elderly and Isolation: Report on the 50 Elderly Peoples Living Alone in the Latter Stage

松 成 恵

Megumi MATSUNARI

研究目的

この報告書の目的は、1999年から2007年にかけて実施された、山口市宮野地区における独居後期高齢者の実態調査から、高齢者の孤立化に焦点をあてて分析することである。

このような調査の家族社会学理論における意義、及び、福祉行政的実践の意義については、昨年の社会福祉学部紀要に要約されているのでここでは省略したい。¹⁾

この分析目的の基になった調査は、1999年（4名）、²⁾ 2000年（5名）、³⁾ 2001年（7名）、⁴⁾ 2002（9名）、⁵⁾ 2003年（5名）、⁶⁾ 2004年（5名）、⁷⁾ 2005年（5名）、⁸⁾ 2006年（5名）、⁹⁾ 2007年（5名）、の合計50名である。

研究方法

調査地は、交通の便、調査協力などを考慮して、山口市の1地区が選ばれた。この地区には、独居後期高齢者が、百数十名いる。そのうち、民生委員の方々から推薦いただいた人が自動的に調査対象者になっている。調査対象者になることを承諾するという点で階層差があることは十分承知している。また、調査時点に8年の幅があるものを一覧にして分析している点も注意をほらなければならないことを認識している。

調査方法は、ライフコースアプローチを採用し、家族歴、職業歴、健康状態、友人関係、近隣関係、親族関係、趣味や楽しみ、子どもとの関係、将来のことなど、生活全般について自由に語ってもらっている。質問する大項目は決めているが、基本的には非構造調査である。調査対象者から録音

することの了承を得て、原則一人2回、合計3時間から5時間インタビューした。¹⁰⁾

研究結果

調査結果の概要は表1から表11に要約される。

表1-1 調査年・ケース番号・性別・年齢・出身県・主たる職業歴

調査年	ケース番号	性別	年齢	出身県	本人の主たる職業歴
1999年	1	女性	74歳	山口県	農業
	2	男性	76歳	山口県	民間企業勤務
	3	女性	82歳	山口県	民間企業勤務
	4	女性	85歳	山口県	民間企業勤務
2000年	5	女性	74歳	山口県	専業主婦
	6	女性	75歳	山口県	専業主婦
	7	女性	77歳	山口県	民間企業勤務
	8	女性	84歳	山口県	民間企業勤務
	9	女性	89歳	山口県外	専業主婦
2001年	10	女性	75歳	山口県	民間企業勤務
	11	女性	75歳	山口県	民間企業勤務
	12	女性	78歳	山口県	農業
	13	女性	80歳	山口県	専業主婦
	14	女性	81歳	山口県	公務員
	15	女性	83歳	山口県	民間企業勤務
	16	女性	87歳	山口県外	民間企業勤務
2002年	17	女性	75歳	山口県	民間企業勤務
	18	女性	75歳	山口県	公務員
	19	男性	78歳	山口県	民間企業勤務
	20	男性	78歳	山口県	公務員
	21	女性	81歳	山口県外	専業主婦
	22	女性	84歳	山口県外	民間企業勤務
	23	男性	87歳	山口県	公務員
	24	男性	88歳	山口県	公務員
	25	女性	89歳	山口県	専業主婦

表1-2 調査年・ケース番号・性別・年齢・出身県・
主たる職業歴

調査年	ケース番号	性別	年齢	出身県	本人の主たる職業歴
2003年	26	女性	76歳	山口県	専業主婦
	27	女性	77歳	山口県	専業主婦
	28	男性	78歳	山口県	公務員
	29	女性	82歳	山口県	民間企業勤務
	30	女性	83歳	山口県外	民間企業勤務
2004年	31	女性	74歳	山口県	公務員と専業主婦
	32	男性	78歳	山口県	民間企業勤務
	33	女性	81歳	山口県	専業主婦
	34	女性	83歳	山口県	農業
	35	女性	86歳	山口県	公務員
2005年	36	男性	77歳	山口県	農業
	37	男性	81歳	山口県	公務員
	38	女性	83歳	山口県外	民間企業勤務
	39	女性	83歳	山口県	専業主婦
2006年	40	女性	88歳	山口県外	専業主婦
	41	女性	75歳	山口県	専業主婦
	42	女性	76歳	山口県	民間企業勤務
	43	女性	77歳	山口県	専業主婦
	44	男性	79歳	山口県	公務員
2007年	45	女性	86歳	山口県	専業主婦
	46	女性	75歳	山口県外	民間企業勤務
	47	女性	76歳	山口県	民間企業勤務
	48	女性	78歳	山口県	専業主婦
	49	女性	84歳	山口県	農業
	50	男性	85歳	山口県	公務員

表2 性別・年齢

	男性	女性	計
75歳以上80歳未満	7	18	25
80歳以上	4	21	25
計	11	39	50

*74歳の女性2名含む。

表3 出身県

	男性	女性	計
山口県	11	31	42
山口県外	0	8	8
計	11	39	50

表4 主たる職業歴

	男性	女性	計
民間企業勤務	3	16	19
専業主婦	0	15	15
公務員	7	3	10
農業	1	4	5
公務員と専業主婦	0	1	1
計	11	39	50

表5 寡婦(夫)期間

	男性	女性	計
10年未満	3	16	19
10年以上20年未満	3	9	12
20年以上30年未満	4	4	8
30年以上40年未満	0	3	3
40年以上50年未満	0	1	1
50年以上	0	3	3
戦争未亡人	0	2	2
離別	0	1	1
配偶者が施設入居	1	0	1
計	11	39	50

表6-1 健康状態

ケース番号	性別	年齢	健康状態
1	女性	74歳	精神的疾患通院中
2	男性	76歳	胃の手術をしている
3	女性	82歳	骨粗しょう症・高血圧・肋間神経痛
4	女性	85歳	安定剤を処方してもらうこともある・8年前大腸がんの手術
5	女性	74歳	腰痛で通院
6	女性	75歳	特定疾患・薬の副作用で眼科に通院
7	女性	77歳	良好
8	女性	84歳	喉の手術で入院・月一回通院
9	女性	89歳	膝痛
10	女性	75歳	高血圧
11	女性	75歳	胃の調子が良くない・腰や肩の痛み
12	女性	78歳	高血圧の薬服用・腰や足の痛み
13	女性	80歳	成人病などたくさんの病気・3か月に一回通院
14	女性	81歳	膝を痛めているがもともとは元気
15	女性	83歳	足腰に痛み・骨粗しょう症・軽い喘息・二週間に一回通院
16	女性	87歳	夏に2回ほど入院、ここ3年はない・持病はない
17	女性	75歳	白内障と緑内障がある・膝が悪く整形外科に通院
18	女性	75歳	以前、膝を悪くしたが、今は良好
19	男性	78歳	白内障の手術・膝が悪く週一回通院
20	男性	78歳	血圧やや高めで通院・7、8年前ヘルニアで入院
21	女性	81歳	白内障、月一回検診・足腰が弱っている。
22	女性	84歳	10年ほど前、骨折で入院・腰痛で通院
23	男性	87歳	高血圧で月二回通院
24	男性	88歳	胃やヘルニアの手術・ヘルペス・高血圧で通院・足の骨折で立ち座りが不便
25	女性	89歳	心臓の病気、腰痛で通院・高血圧・高脂肪・白内障・くも膜下出血で手術

*いまのところ健康に問題はない

表6-2 健康状態

ケース番号	性別	年齢	健康状態
26	女性	76歳	高血圧で心臓も悪い・月二回通院
27	女性	77歳	胃が弱い・膝が悪い・皮膚科に通院・二回手術をしている
28	男性	78歳	予防的に血圧の薬を月一回もらう・良好
29	女性	82歳	膝が悪く痛み止めをもらう・高血圧で二週間に一回通院
30	女性	83歳	高血圧で月一回通院・膝の神経痛で週二回りハビリ通院
31	女性	74歳	良好
32	男性	78歳	高血圧・内科、脳外科、眼科に通院服薬・脳梗塞の後遺症で足の親指にしびれ
33	女性	81歳	夫の死後、逆流性胃炎・高血圧で月一回通院服薬
34	女性	83歳	股関節の手術・脱臼して再手術・二か月に一回整形外科通院
			心臓、血圧、胃潰瘍で二週間に一回通院・リュウマチの薬ももらっている
35	女性	86歳	良好・たまに血圧の薬を飲む
36	男性	77歳	血圧が高く、時々薬を飲む・膝が痛かったり、肩がこったりする
37	男性	81歳	2、3年前にたおれた・血圧、心臓関係で月一回通院服薬
38	女性	83歳	第二腰椎周辺圧迫骨折で入院平成17年・遠出に不安があるが持病はない
39	女性	83歳	2年前頸椎をいためて手術し一年入院し車椅子だった・杖がいらないまでに回復
			リハビリの先生が月一回くる・不整脈で月二回内科通院服薬
40	女性	88歳	7年前に心臓を悪くして入院・3か月に一回通院し心臓系と血圧系服薬・少し前に目の手術
41	女性	75歳	健康状態は良好である・膝が痛く正坐ができない・高脂血症であるが服薬はしていない
42	女性	76歳	高血圧、喘息で月一回通院服薬・半月板損傷手術で二週間に一回ヒアルロン酸の注射
43	女性	77歳	健康状態は良好・膝が少し痛い・血圧やや高め・三食食べて時間に寝ることを守っている
44	男性	79歳	右足太ももと足首に坐骨神経痛、通院はしていない・高血圧で月一回通院服薬・白内障の手術
45	女性	86歳	高血圧通院服薬・眼科月一回通院・白内障の手術
			整形外科股関節とひざが痛く歩くのが少々不自由月一回通院・右手関節炎で手があがらない
46	女性	75歳	高血圧
47	女性	76歳	がんで手術
48	女性	78歳	足と腰が悪く鍼や灸に行く
49	女性	84歳	やや高血圧
50	男性	85歳	糖尿病の検査を受けている

*いまのところ健康に問題はない

表7 友人関係

調査年	ケース番号	性別	幼友達	学生時代	勤務時代	近隣	趣味	特 に い な い	備 考
1999年	1	女性						○	
	2	男性						○	
	3	女性							デーサービスでの友人はいる
	4	女性						○	
2000年	5	女性				○			
	6	女性				○	○		お茶とお花のお稽古仲間
	7	女性			○				
	8	女性				○			
	9	女性						○	
2001年	10	女性					○		
	11	女性		○					
	12	女性				○			
	13	女性						○	
	14	女性			○				
	15	女性			○		○		
	16	女性			○		○		川柳の会に月一回参加
2002年	17	女性	○			○			
	18	女性		○	○		○		同級生と食事会、小旅行をする
	19	男性						○	
	20	男性					○		囲碁仲間
	21	女性				○	○		生協の集配日に集まる。華道仲間
	22	女性	○						
	23	男性			○				一番の友人である
	24	男性			○				最も親しい人がいる
	25	女性						○	隣家の人で食物をあげたり貰ったりする
2003年	26	女性				○			PTAで一緒だった友人
	27	女性				○	○		子どもや夫の関係で知り合った友人
	28	男性						○	
	29	女性						○	
	30	女性				○			毎日会う友人がいる
2004年	31	女性						○	
	32	男性						○	
	33	女性			○				
	34	女性				○			
	35	女性						○	
2005年	36	男性						○	
	37	男性			○				
	38	女性			○	○	○		
	39	女性	○				○		幼友達は遠方で電話のやりとり
	40	女性				○	○		
2006年	41	女性	○	○		○			
	42	女性		○	○	○	○		
	43	女性	○				○		宗教団体やボランティアの活動
	44	男性			○	○			
	45	女性							デーサービスでの友人はいる
2007年	46	女性			○		○		
	47	女性			○	○			40年来の友人
	48	女性	○			○	○		
	49	女性						○	
	50	男性					○		

表8 親族関係

調査年	ケース番号	性別	きょうだい	きょうだい以外	特にいない	内容表現
1999年	1	女性	○			弟の嫁がよくしてくれる
	2	男性			○	正月、法事などで会う程度
	3	女性			○	行き来はそれほどない
	4	女性	○			妹は近くにおいて時々訪ねる
2000年	5	女性	○			弟家族が近所に住んでいるが頼らないつもり
	6	女性	○			妹や弟が物を送ってくれる
	7	女性			○	
	8	女性			○	
	9	女性			○	
2001年	10	女性	○			近くに姉がいるが足腰が悪く来れない
	11	女性			○	夫の妹がいるが、病気である
	12	女性	○	○		弟が近所にいる。甥夫婦が裏に住んでいる
	13	女性		○		母の従兄弟と冠婚葬祭のときの付き合い
	14	女性	○			弟と妹がいるが電話のみで行き来はない
	15	女性	○			姉と夫の妹と電話や行き来がある
	16	女性			○	
2002年	17	女性	○			弟がいるが、遠方なので電話で話す程度
	18	女性	○			姉とは会うことが多く、妹は電話する程度
	19	男性	○	○		姉は足が悪く、会うことはない。甥夫婦が隣に住んでいる
	20	男性				不明
	21	女性	○			仲がよく、墓参りなどで集まる
	22	女性	○			あまり行き来はない
	23	男性	○			弟がいるが疎遠である
	24	男性	○			電話で話す程度。入院したときは見舞ってくれた
	25	女性		○		親戚と電話のやり取り程度
	2003年	26	女性	○		
27		女性	○	○		夫のきょうだいと仲良くしている。姪がよくしてくれる
28		男性	○			姉が近所で、時々訪ねてくる
29		女性		○		両親の養子夫婦の子どもがよくしてくれる
30		女性		○		息子の前妻と孫との付き合いがある
2004年	31	女性	○			弟、妹が近所におり、行き来がある
	32	男性	○			妹がいるが、普段の付き合いはない
	33	女性	○			兄とは電話や行き来があるが姉とは交流はない
	34	女性	○			姉、妹が市内におり、行き来がある
	35	女性	○			弟は遠方で電話で話す程度
2005年	36	男性	○			姉が市内にいるが、高齢のため行き来はない
	37	男性	○			市内の妹とは行き来があり、他も電話や墓参りで会う
	38	女性	○			姉は施設にいるため交流はない
	39	女性	○			何かあった時は、隣接他市にいる妹を頼りにしている
	40	女性			○	
2006年	41	女性	○			兄嫁が市内におり来てくれる
	42	女性	○			夫の妹と弟がいるが行き来はない
	43	女性		○		姪や甥とたまに電話する程度
	44	男性	○			妻の兄や弟と以前はよく旅行に行っていた
	45	女性		○		従兄弟が電話したり、野菜など持ってきてくれる
2007年	46	女性	○			姉とよく行き来がある
	47	女性	○			妹は足が悪いが家にくる
	48	女性	○			近所にいる妹と良好な関係を築いている
	49	女性		○		夫側の親族との付き合いはない
	50	男性	○			妻のきょうだい夫婦を月に一度訪問する

表9 社会参加

調査年	ケース 番号	性別	年齢	老人会へ の参加	その他 の活動	備考
1999年	1	女性	74歳	×	×	
	2	男性	76歳	×	○	社会福祉協議会、公民館活動
	3	女性	82歳	×	×	
	4	女性	85歳	×	×	
2000年	5	女性	74歳	×	○	農協の朝市に野菜を出荷している
	6	女性	75歳	×	×	
	7	女性	77歳	×	×	
	8	女性	83歳	×	×	
	9	女性	89歳	×	○	宗教団体の行事に参加する
2001年	10	女性	75歳	×	○	同窓会が二か月に一回あり参加する
	11	女性	75歳	×	×	
	12	女性	78歳	×	×	
	13	女性	80歳	×	×	
	14	女性	81歳	×	×	
	15	女性	83歳	×	○	川柳の会に月一回参加する
2002年	16	女性	87歳	×	×	
	17	女性	75歳	×	×	
	18	女性	75歳	×	○	趣味の俳句、俳画
	19	男性	78歳	○	○	公会堂の会計、月一回の掃除、OB会
	20	男性	78歳	×	○	囲碁部のある寺の事業・掃除、敬老会
	21	女性	81歳	×	×	
	22	女性	84歳	×	×	
	23	男性	87歳	×	○	老人会での年一回の食事会
2003年	24	男性	88歳	×	○	月一回の高齢者の集まり
	25	女性	89歳	×	×	老人会に興味は持っている。
	26	女性	76歳	○	○	趣味のお花・大正琴、生き生きサロン
	27	女性	77歳	×	○	趣味の草木染、文化バスでの旅行
	28	男性	78歳	×	○	年一回の敬老会
	29	女性	82歳	×	○	婦人会の講習、生け花を教えている。
	30	女性	85歳	×	○	月に一回のニコニコ会
2004年	31	女性	74歳	×	○	地区の婦人会でのゴミの分別
	32	男性	78歳	×	○	町内会の会長をしていた。
	33	女性	81歳	×	○	月一、二回コーラス部へ行っている。
	34	女性	83歳	×	×	
	35	女性	86歳	×	×	
2005年	36	男性	77歳	○	○	二か月に一度老人会、月一回農協の座談会
	37	男性	81歳	×	×	
	38	女性	83歳	×	×	
	39	女性	83歳	×	○	趣味のお茶、お花を教えている。
	40	女性	88歳	×	○	趣味の絵を習いに行っている。
2006年	41	女性	75歳	×	×	
	42	女性	76歳	×	○	ニコニコ会に参加
	43	女性	77歳	×	○	奉仕活動、ボランティア
	44	男性	79歳	×	×	
	45	女性	86歳	×	×	
2007年	46	女性	75歳	×	○	趣味の洋裁、陶芸、ピアノ
	47	女性	76歳	×	○	町内班の仕事
	48	女性	78歳	○	○	公民館である自強術
	49	女性	84歳	×	×	
	50	男性	85歳	×	×	

表10-1 別居子との関係

ケース番号	性別	年齢	子どもの有無	子どもの所在地	将来について	関係性の内容
1	女性	74歳	一男一女	長男・他県	長男に期待	来るように言うが都会生活に踏み切れない。
				長女・他県		体調が悪いとき10日ばかりいく。
2	男性	76歳	一男一女	長男・死亡	施設希望	嫁とは月命日に墓で会う程度
				長女・市内		毎日仕事のあとで夕食のおかずを届けてくれる
3	女性	82歳	二男四女	長男・市内	施設希望	何かあれば駆けつけてくれる。
				次男・市内		何かあれば駆けつけてくれる。
				長女・他県		娘のほう気兼ねなく何でも話せる。
				次女・他県		娘のほう気兼ねなく何でも話せる。
				三女・他県		娘のほう気兼ねなく何でも話せる。
				四女・他県		娘のほう気兼ねなく何でも話せる。
4	女性	85歳	一男一女	長男・市内	長男との同居希望せず	時々来てくれる。
				長女・市内		毎日夕方には歩いて訪ねる。
5	女性	74歳	一男二女	長男・他県	長男に期待	来いといわれても行かない。
				長女・他県		勤めていて次女ほどはあてにできない。
				次女・他県		何かあれば新幹線で来てくれる。
6	女性	75歳	一男一女	長男・日本と米国	施設希望	長男は未婚。関係は良好。
				長女・他県		舅を山口に残しているのを見てもらえない。
7	女性	77歳	一男(養子)	長男・市内	長男との同居希望せず	朝新聞を読んでそれを息子宅へ届ける
8	女性	84歳	一男	長男・市内	施設希望	息子はよく訪ねてくれる
9	女性	89歳	二男三女	長男・他県	次男と同居希望せず	不明
				次男・市内		次男は毎晩泊まりに来る。
				長女・市内		長女は毎日通って援助している。
				次女・他県		不明
				三女・他県		不明
10	女性	75歳	三女	長女・死亡	施設希望	非該当
				次女・県内		週に1度は訪ねてくる。
				三女・他県		品物を送ってくれたりする。
11	女性	75歳	一男二女	長男・市内	施設希望	同居したことがあるがうまくいかなかった。
				長女・市内		長女は歩いて10分、毎日行き来きがある。
				次女・他県		長女と次女と旅行に行く。
12	女性	78歳	一男一女	長男・他県	施設希望	仕事があるから帰れとはいえない。
				長女・他県		電話でよく話しをする。娘のほうか話やすい。
13	女性	80歳	一男一女	長男・市内	施設希望	長男は週一回訪ねてくれる。優しい。
				長女・市内		働いているので用事をたのみにくい。
14	女性	81歳	二男	長男・他県	長男に期待	長男夫婦はお盆やお彼岸には帰ってくる
				次男・他県		不明

表10-2 別居子との関係

ケース番号	性別	年齢	子どもの有無	子どもの所在地	将来について	関係性の内容
15	女性	83歳	二男一女	長男・他県	次男に期待	長男の嫁との行き来はない。
				次男・他県		次男が家を継ぐことになっている。定年まで数年ある。
				長女・県内		長女は、米や野菜をよく届けてくれる。
16	女性	87歳	一男一女	長男・県内	長男との同居希望せず	別居によって関係は良好。
				長女・県内		長女との関係は良好。
17	女性	75歳	一男一女	長男・県内	施設希望	仕事がいそがしくゆっくりしていくことはほとんどない。
				長女・他県		電話でよく話しをする。娘のほうが話やすい。
18	女性	75歳	一女(離別)	不明	できるだけ自宅で	離婚した際、夫が引き取ったため、行き来はない。
19	男性	78歳	一男一女	長男・市内	施設やむなし	単身赴任中。嫁は同居を望んでないだろう。
				長女・市内		長女は、歩いて10分、月1回ほど訪ねてくる。
20	男性	78歳	一男二女	長男・病気	できるだけ自宅で	病気療養中
				長女・県内		一年に二、三回来る
				次女・他県		二年に一回くらい帰ってくる
21	女性	81歳	二男二女	長男・他県	長男に期待	責任感があるので帰ってきてくれるだろう。
				次男・他県		それぞれの生活があって帰ってこないだろう。
				長女・他県		それぞれの生活があって帰ってこないだろう。
				次女・県内		次女は月一回訪ねてくれる。
22	女性	84歳	一女(養女)	長女・他県	できるだけ自宅で	不明
23	男性	87歳	一男二女	長男・他県	長男に期待	年二、三回帰ってくる。
				長女・県内		姉と妹で土曜日か日曜日よく訪ねてくれる。
				次女・県内		次女夫婦が、面倒をみるといってくれる。
24	男性	88歳	三男二女	長男・死亡	次男に期待	非該当
				次男・市内		家の裏に住んでいて、嫁がよく来てくれる。
				三男・他県		不明
				長女・他県		不明
				次女・市内		週1回、野菜など持って来てくれる。
25	女性	89歳	一男二女	長男・死亡	施設希望	非該当
				長女・死亡		非該当
				次女・市内		一番心を開いて話せるのは娘である

表10-3 別居子との関係

ケース番号	性別	年齢	子どもの有無	子どもの所在地	将来について	関係性の内容	
26	女性	76歳	二男一女	長男・市内	長男との同居希望せず	隣接裏地に住む長男がなんとかするだろう。	
				次男・他県			次男は正月には家族でよく帰ってきた。
				長女・市内			一緒に住もうとは思わないし、自分も考えていない。
27	女性	77歳	一女	長女・他県	できるだけ自宅で	いよいよのときは娘の所に行くことを考えている。	
28	男性	78歳	二男	長男・他県	長男に期待	年に二、三回帰ってくる	
				次男・他県		年に五、六回帰ってくる	
29	女性	82歳	一男（養子）	長男・県内	できるだけ自宅で	跡取りは定年後でないと近くにこれない	
30	女性	83歳	一男一女	長男・市内	施設希望	週一回は来る。	
				長女・市内		長女は毎晩電話があり、休日、会って食事する。	
31	女性	74歳	一男一女	長男・県内	長男に期待	来るように誘いがあるが家を離れたい。	
				長女・市内		長女は週1回訪ねてくれる。	
32	男性	78歳	一男（離別）	長男・離別	できるだけ自宅で	行き来はない	
33	女性	81歳	二男	長男・市内	施設希望	盆、暮れには帰ってくる	
				次男・市内		盆、暮れには帰ってくる	
34	女性	83歳	一男三女	長男・他県	長男に期待	あまり帰ってこない。	
				長女・市内		月一回程度くる。	
				次女・市内		次女は週末に来て、買い物などしてくれる。	
				三女・市内		三女も週一回ほど来てくれる。	
35	女性	86歳	三男	長男・県内	できるだけ自宅で	月一回程度来る	
				次男・他県		電話で様子をたずねてくれる	
				三男・死亡		死んだ三男の嫁が近くにいて頼りにしている	
36	男性	77歳	一男一女	長男・死亡	できるだけ自宅で	非該当	
				長女・他県		盆、正月、5月の連休に帰ってくる	
37	男性	81歳	二男一女	長男・市内	できるだけ自宅で	土日は長男宅で夕食を食べる。	
				次男・市内		自分の車で行って泊まることもある。	
				長女・市内		習い事のあと立ち寄る。	
38	女性	83歳	一女	長女・他県	長女に期待	「何かあればいつでも行く。」と言ってくれる。	
39	女性	83歳	一女（養女）	長女・他県	考えていない	お正月やお盆は2、3日帰ってくる。	
40	女性	88歳	三男二女	長男・死亡	最後まで自宅で	非該当	
				次男・死亡		非該当	
				三男・他県		定年後帰ってくる話がある。	
				長女・他県		長女は毎日電話をくれ、不安時話を聞いてもらう。	
				次女・他県		3日に1回くらい電話がある。	
41	女性	75歳	一男一女	長女・市内	できるだけ自宅で	長女は何かあったらすぐ来てくれる。	
				長男・他県		姉が近くにいたので安心している。	

表10-4 別居子との関係

ケース番号	性別	年齢	子どもの有無	子どもの所在地	将来について	関係性の内容
42	女性	76歳	三男一女	長男・死亡	できるだけ自宅で	長男は50歳で死亡。嫁と毎日行き来がある。
				次男・死亡		非該当
				三男・他県		遠方でなかなか帰ってこれない。
				長女・県内		帰ってでも看るといってくれている。
43	女性	77歳	一男一女	長女・他県	このまま自宅で	正月には孫が年末から一人でくる。
				長男・市内		息子は単身赴任中。正月は息子家族がくる。
44	男性	79歳	一男一女	長男・他県	このまま自宅で	盆、正月、家族で帰ってくる。一緒に旅行に行く。
				長女・市内		良くしてくれるが妻には及ばない。
45	女性	86歳	二女	長女・県内	このまま自宅で	病気がちであまりこない
				次女・他県		数か月に一度夫と帰ってきて長期滞在してくれる
46	女性	75歳	一男一女	長男・市内	長男に期待	正月は一年おきくらいに帰ってくる。
				長女・県内		月に一回は帰ってくる。
47	女性	76歳	二女	長女・死亡	長女の夫に期待	長女の夫と最近同居
				次女・他県		不明
48	女性	78歳	一男一女	長男・他県	まだ考えていない	一年に一回は帰ってくる。
				長女・県内		月に一回帰ってきて、車で出かける。
49	女性	84歳	三男一女	長男・他県	次男に期待	たまに帰ってくる。
				次男・県内		週に一回は帰ってくる。
				三男・死亡		非該当
				長女・他県		たまに帰ってくる。
50	男性	85歳	二男	長男・他県	長男に期待	身の上話や、相談事をする。
				次男・他県		不明

表11 別居子からの日常的サポートが期待できないケース

ケース番号	性別	年齢	子どもの有無	子どもの所在地	関係性の内容	親族関係	友人関係	社会参加	孤立化の危機
1	女性	74歳	一男一女	長男・他県	来るように言うが都会生活に踏み切れない。	○	×	×	
				長女・他県	体調が悪いとき10日ばかりいく。				
5	女性	74歳	一男二女	長男・他県	来いといわれても行かない。	○	○	○	
				長女・他県	勤めていて次女ほどはあてにできない。				
				次女・他県	何かあれば新幹線で来てくれる。				
6	女性	75歳	一男一女	長男・日本と韓国	長男は未婚。関係は良好。	×	○	×	
				長女・他県	舅を山口に残しているのを見てもらえない。				
12	女性	78歳	一男一女	長男・他県	仕事があるから帰れとはいえない。	○	○	×	
				長女・他県	電話でよく話しをする。娘のほうが話やすい。				
14	女性	81歳	二男	長男・他県	長男夫婦はお盆やお彼岸には帰ってくる	×	○	×	予備軍
				次男・他県	不明				
17	女性	75歳	一男一女	長男・県内	仕事がいそがしくゆっくりしていくことはほとんどない。	×	○	×	予備軍
				長女・他県	電話でよく話しをする。娘のほうが話やすい。				
18	女性	75歳	一女（離別）	不明	離婚した際、夫が引き取ったため、行き来はない。	○	○	○	
20	男性	78歳	一男二女	長男・病気	病気療養中	不明	○	○	
				長女・県内	一年に二、三回来る				
				次女・他県	二年に一回くらい帰ってくる				
22	女性	84歳	一女（養女）	長女・他県	不明	×	○	×	予備軍
27	女性	77歳	一女	長女・他県	いよいよのときは娘の所に行くことを考えている。	○	○	○	
28	男性	78歳	二男	長男・他県	年に二、三回帰ってくる	○	×	○	有り
				次男・他県	年に五、六回帰ってくる				
32	男性	78歳	一男（離別）	長男・離別	行き来はない	○	×	○	有り
36	男性	77歳	一男一女	長男・死亡	非該当	×	×	○	有り
				長女・他県	盆、正月、5月の連休に帰ってくる				
38	女性	83歳	一女	長女・他県	「何かあればいつでも行く。」と言ってくれる。	×	○	○	予備軍
39	女性	83歳	一女（養女）	長女・他県	お正月やお盆は2、3日帰ってくる。	×	×	○	予備軍
40	女性	88歳	三男二女	長男・死亡	非該当	×	○	○	
				次男・死亡	非該当				
				三男・他県	定年後帰ってくる話がある。				
				長女・他県	長女は毎日電話をくれ、不安時話を聞いてもらう。				
				次女・他県	3日に1回くらい電話がある。				
45	女性	86歳	二女	長女・県内	病気がちでありこない	○	○	×	予備軍
				次女・他県	数か月に一度夫と帰ってきて長期滞在してくれる				
47	女性	76歳	二女	長女・死亡	長女の夫と最近同居	○	○	○	
				次女・他県	不明				
50	男性	85歳	二男	長男・他県	身の上話や、相談事をする。	○	○	×	
				次男・他県	不明				

要約と考察

以上の表から明らかのように、地域社会から孤立する危機にあるケースが3ケースある。3名とも男性である。また、一層の加齢ともなって将来的に孤立の危機にあるケースが6ケースある。別居子が県内にいたり、市内にいたりしても、必ずしも日常的サポートを得られるとはかぎらないが、遠方である場合、まず期待しようがない。また、親族関係や友人関係を有していても、同世代である場合、ともに高齢化するから、今後もサポートを期待できるとはかぎらない。また、社会参加も、加齢に伴って縮小ないし、終止を余儀なくされるだろう。そのようなことが今後予想され、孤立化の予備軍ともいふべきケースはもっと増える可能性がある。¹¹⁾

宮野地区でも、一層増加が予想される独居後期高齢者に対する福祉行政的な政策、施策となると今日の地方の財政状況を考えると大変厳しいものがある。伝統的な地域社会の崩壊とともに、最晩年を支える新しい助け合いのフレームワーク、社会規範をどう構築するかが問われている。^{12) 13)}

14) 15) 16) 17) 18)

注・参考文献

- 1) 松成 恵 2008 「高齢者とジェンダー—独居後期高齢者実態調査45ケースについて—」『山口県立大学社会福祉学部紀要』第14号 81-88
- 2) 松成 恵 2000 「家族社会学のパラダイムシフト—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』26号 19-24
- 3) 松成 恵 2001 「老齢に伴う親子同居のタイミナー—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』27号 19-30
- 4) 松成 恵 2002 「家族と介護—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』28号 47-56
- 5) 松成 恵 2003 「高齢者の人間関係—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』29号 49-59
- 6) 松成 恵 2004 「高齢者の楽しみ・生きがい—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』30号 67-75
- 7) 松成 恵 2005 「高齢者と地域社会—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』31号 57-64
- 8) 松成 恵 2006 「高齢者と社会的支援—独居後期高齢者事例研究—」『山口県立大学生生活科学部研究報告』32号 61-70
- 9) 松成 恵 2006 「家族と介護—山口市M地区における独居後期高齢者実態調査40ケースから—」『西日本社会学会年報』第5号 169-180
- 10) インタビューの第1回目はすべて筆者が行った。第2回目は、それぞれの調査年度の卒業研究の一環として学生が行った。学生たちの許可をえて、インタビュー内容を参照させていただいている。
- 11) Kahn,R.L.& Antonucci,T.C. 1981 “Convoys of Social Support: A Life-Course Approach” in Kiesler,S.B.etal.(eds.) Aging:Social Change Academic Press 383-405
カーンとアントヌッチは、人々がその人生行路の各ステージにおいて形成する人々の網の目をコンボイと呼んだ。本報告の対象者も加齢に伴って、そのような社会的ネットワークが、身近な人々に限られていく様子が観察された。また、ほとんどのケースで、最晩年には一層その人数が減少することが観察された。
- 12) 松下育夫 2005 「第5章 高齢者福祉施設におけるボランティアセクターの意義」『現代社会と社会福祉』学文社 81-101 行政的福祉の限界を超えるためのボランティアの意義について詳細に解説されている。
- 13) 松下育夫 2005 「第6章 住民主体型福祉NPOへの変遷とその有効性」『現代社会と社会福祉』学文社 103-131 行政的福祉の限界を超えるためのボランティアの意義について詳細に解説されている。
- 14) 高野和良 「高齢社会における社会組織と生きがいの地域性」『生きがい研究 9』財団法人 長寿社会開発センター 69-89 2003

多様な中間集団の重要性について述べている。

- 15) 森岡清美 2006 「高齢期の発達はあるか—発達主体の目標と希望」内田信子編 『誕生から死までのウェルビーイング』 金子書房 77-85 高齢者の尊厳を問うならば当然、ライフコース上、死にいたるまでがその視野に入ってくる。
- 16) 森岡清志編 2008 『地域の社会学』 有斐閣 家族が単独に必要な機能を果たすことが不可能である現代社会では、家族研究は当然、地域社会とのかかわりを検討せざるをえない。
- 17) 藤崎宏子 1998 「高齢者の自立と社会参加」『高齢者・家族・社会的ネットワーク』 培風館 2-10 高齢者の自立と社会参加についての定義が試みられている。自立とは自分の人生は自分で決めるという「自己決定の原理」であり、社会参加とは「他者との豊かなかかわりを維持する」とされている。したがって、地域社会からの高齢者の孤立化は深刻な問題として検討される必要がある。
- 18) 養老孟司 2004 『死の壁』 現代都市文明がいかにか人間の死の問題について排除して構築されているかについて認識させられる。

Elderly and Isolation: Report on the 50 Elderly Peoples Living Alone in the Latter Stage

Megumi MATSUNARI

Summary

The purpose of this report is to clarify the problem of the isolation in the life of the elderly. It is based on a case study of the 50 elderly peoples living alone in the latter stage of their life stage. They are living at the one political unit in the Yamaguchi City. The study is conducted from 1999 to 2007.

The results are:

- (1) The 19 cases can not expect daily supports from their sons or daughters. Most of all they are not

living in Yamaguchi prefecture.

- (2) The 3 cases have not intimate friends who give various supports- for example emotional satisfaction and social information.
- (3) They are confronted with social isolation from their community.
- (4) In the near future much more elderly peoples would be isolated by their aging.
- (5) The new social norm in regards to who must continuously look after elderly people in the latest stage of their aging is not enough established.

謝辞

1999年から2007年まで調査に協力いただいた皆様、また紹介の労を取ってくださった民生委員の皆様にご心よりお礼申し上げます。